

資料 1

令和 7 年 12 月 3 日

■ 庄和地区の活性化に向けた取り組みについて（意見集約シート） ■

順不同

1 庄和地区を「よりよい地域」に活性化していくためには、何が必要だと思いますか。

《皆さんから事前にいただいた意見》

- ・ 少子、高齢化が問題なら解決策を考える。
- ・ 庄和地区が北部地域、中部地域、南部地域と分かれているため、北部地域では、大風文化交流センター「ハルカイト」を、中部では、庄和市民センター正風館を、南部では、庄和南公民館を中心にイベントを展開する。
- ・ 子育ての手助けをする。福祉のために援助する。（具体的な対策は未定）
- ・ 住みやすいまちづくりと防災対策を強化する。防災訓練を充実させる。情報伝達を充実させる。
- ・ 若い世代と高齢者が交流できる行事やイベントを設ける。
- ・ 全世代が安心、安全に暮らせる環境づくりを整備する。
- ・ 若い世代が集まれる居場所をつくる。

《注目意見》

- ・ 「よりよい地域」とは、どういうものなのか、定義が不明確ではないか。「よりよい地域」とは、どういうものなのかについて、人それぞれ考え方に違いがある。委員の統一した見解は難しい。
- ・ まずは、「よりよい地域」とは何かを十分に時間をかけて議論するべきではないか。
- ・ 暮らしやすいとは ⇒ 税金が安い。教育に力を入れている。子育てがしやすい。協力的。交通網が充実。医療が充実。医療費が安い。⇒ この視点は、行政側（春日部市）にお願いすること。庄和地区地域づくり推進協議会の「私たち（地域）のできる取り組み」の趣旨から外れる。

◆ポイント（本日の意見交換）◆

「よりよい地域」の定義が人それぞれのため、

「よりよい地域」  「地域内の交流の活性化（地域交流イベントの開催）」と定義してみる。

- ・ 高齢者の方々にとって「横のつながり」（地域や社会（学校等）とのつながり）は非常に重要であり、その大切さを認識している方が多いことから、
まずは、本日、庄和地区で来年度（令和8年度）実施可能な地域交流イベント事業（私たち（地域）のできる取り組み）について、委員の皆さんで話し合う。

◆ 例示

- ・ 学校の子どもたちと高齢者の方々が連携して技術や文化の継承を目的とした交流イベント事業を定期的に行う。（昔ながらの遊びの共有、学校行事に高齢者が参加する等。）

◆ 委員の皆さんの提案（地域交流イベント事業）

・

・

・

◆ 主な準備項目

①イベント開催の目的（目標）、②開催日時、③企画（内容）、④目的（ねらい）、⑤会場、⑥対象者、⑦当日スケジュール、⑧課題、⑨協力機関（団体）⑩周知方法 など

∴ 地域交流イベント事業の実施・成功
庄和地区のさらなる活性化につながる

2 (回答1 関連) そのために私たち(地域)でできる取り組みがあれば、教えてください。

《皆さんから事前にいただいた意見》

- ・自治会単独で自主防災訓練を実施するのではなく、北部地域、中部地域、南部地域ごとに自主防災訓練を実施する。
- ・子育てで若い世代が聞く耳を持てる環境づくりを構築する。
- ・全世代が参加しやすい行事やイベントを考える。
- ・自主防災訓練にたくさんの方が参加できる方法を考える。
- ・若い世代を講師として、大人が参加できる場所や学べるイベントを実施する。
- ・企画立案から運用までのサポートを行うボランティアを募集する。
- ・高齢者世帯に対する支援的なものを立ち上げる。地域ごとに。身近かに。
- ・公民館職員の増加を行政側(春日部市)に提案する。
- ・庄和地区の地域全体を考えると、地域に分室や支所をつくるのがよい。

《皆さんから事前にいただいた中長期的な意見》

・「私たち(地域)でできる取り組み」として、漠然としたものでよいので「あるべき姿、こうあればよい」という将来計画(青写真)を作成する。

3 Facebook、X(旧 Twitter)、LINE、メールを活用して情報発信を行い、イベント情報を共有することは、情報伝達のスピードや範囲を広げる上で有効ですが、効果的な情報発信があれば、教えてください。

《皆さんから事前にいただいた意見》

- ・SNSの最適なツール(誰でも使いこなせる)を活用し、多くのイベント情報を共有する。
- ・本庁や支所に行かなくても済む窓口体制を整える。より多くの窓口業務を市民センターに集約する。
- ・多くの人が見たくなる春日部のホームページを作成する。
- ・情報共有のため、駅やスーパー、コンビニ、学校等にチラシ等を置いてもらう。効果はある。

- ・井戸端ふれあいサロンや、格安喫茶、駄菓子屋喫茶等、若い世代も気軽に訪れられる場所を提供する。こどもたちが成長したときに、思い出の場所になるような場所がよい。
- ・SNSは若者世代（中学生や高校生、大学生）には有効だが、それ以外の層に効果があるとは思えない。そもそも庄和地区のイベントに他地区（粕壁地区等）からどの程度の参加者がいるのか、情報がほしい。
- ・庄和地区を対象に情報発信をするのであれば、回覧板での案内や、折込チラシ、小学校、中学校、高校に、ご協力をいただき配布物での案内や、駅、商業施設へのポスター掲示が、やはり効果的である。
- ・LINE、公式アカウントでの発信がよい。
- ・SNS利用は若い世代にはよいが、本当に効果的な情報発信はできるのか、どれだけ春日部市の発信を若い世代が見てくれているのかも問題である。現在の春日部市の情報発信は、かなり進んでいる。
- ・果たして、単にイベント情報を発信すればよいのか疑問が残る。例えば、この活性化に向けた取り組み内容（資料）について情報発信（提供）し、広く庄和地区の皆様からご意見を伺うのもよいか。
- ・市民全員が、くまなく情報を共有するためには、紙面に頼ることも必要である。

4 「市民センター」さらなる活用について、ご意見等をご記入ください。

《皆さんから事前にいただいた意見》

- ・市民センターのPRを強める。PR不足の感が否めない。
- ・さらなる活用の前に、そもそも市民センターが何を行うところなのか、何ができるのか、浸透していない。
- ・案内や駅、商業施設へのポスターの掲示など、まずはアナウンスからはじめる。利用者を増やし、その利用者にヒアリングをかけた方が現実的、且つ利用者が求めていることがわかる。
- ・土曜、日曜は色々なイベントがある。平日、カルチャー教室（主に社会人を対象にした様々な教養講座等）を提供する。
- ・市民センターの活用を考えるのではなく、まずは、市民全体に意義を知らせるのが先か。広報のあり方（周知のあり方）に問題がある。利用者が増加すればよいか。

- ・市民センターの機能について、正直、市民はあまり知らない。市民センターで何ができるのか、何をやっているのか。」をきちんと、周知する必要がある。そのためには、SNS の活用方法を検討する。
- ・市民センター関連のお知らせを、2 か月に1 回の「公民館だより」に載せる。

5 その他、お気づきの点等がございましたら、ご意見等をご記入ください。

《皆さんから事前にいただいた意見》

- ・現在、地域内（自治会内）のコミュニケーション不足の感がある。自治会からの脱退者も多い。
- ・公民館も一部の人々が利用している感はあるが、市民が自由に利用できる場所として展開できればよい。
- ・全ての面で、様々な方向性を決めることは、大変なこと。一つの方向だけでなく、今後、協議していく中で、数通りか（真逆もありか）の方向も考えざるを得ないかもしれない。